

第20回九十九里緩和医療セミナー

治療と仕事の両立と経済的不安への支援 ～がんになっても自分らしく生きるために～

治療法や薬の開発が進み、「がん」は「長く付き合う疾患」へと変わってきており、がんの診断を受け、経済的不安を抱えながら、仕事の継続に悩む方も増えております。自らも肺がんステージ4での闘病経験がある社会保険労務士の清水先生に、治療と仕事の両立支援から考える、がんになっても自分らしい生き方についてお話いただきます。

日時：令和8年2月5日(木)

18:00～19:30(受付17:45～)

講師：清水公一氏(肺がんサバイバー・社会保険労務士)

対象：市民一般、医療従事者

講師プロフィール

1977年 熊本県熊本市生まれ、千葉県佐倉市育ち

1996年 千葉県立佐倉高校卒業

2001年 明治大学卒業

2012年 外資系保険会社勤務時に35歳にて肺がん(ステージ4)

2016年 多発脳転移、がん性髄膜炎を発症後、免疫チェックポイント阻害薬が奏効

2019年 社会保険労務士試験合格

2020年 社会保険労務士事務所「Cancer Work-Life Balance」設立

参加無料先着50名

**会場：さんむ医療センター
1階大会議室**

お申し込みは さんむ医療センター地域医療連携室まで

申込締め切り 1月30日(先着50名)

電話 0475-82-2521(代)FAX 0475-80-1738(直)